



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年8月15日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

そこが聞きたい

## 厚労省DMAT事務局次長が得た教訓

17日(火)＝オピニオン面



クラスターが発生した現場を支援して全国を回る厚生労働省DMAT（災害派遣医療チーム）事務局がこのほど、「札幌市第四波（変異株）対応」の報告書をまとめました。自宅待機者の急増

を受け、「感染拡大防止」から「すべての待機者を医療管理下へ」に目標転換。効果をあげています。政府も「入院制限」の新方針を示して反発を招いていましたが、現場からの実態報告は示

唆に富みます。近藤久禎次長は「市長や医師会のリーダーシップ、連携が不可欠」と訴えています。

## 特集ワイド

### 作家・大下英治さんに聞く「秋の政局」

18日(水)＝夕刊特集ワイド



新型コロナウイルスの収束が見通せない中、永田町では秋の政局の季節を迎えようとしています。自民党総裁選と次期衆院選を巡り、安倍晋三前首相らの動きにも注目が集まっています。菅義偉政権がコロナ対応で苦境にあり、支持率も低迷して

いるだけに、永田町の動向からは目が離せません。政治を中心にこれまでの著書数は約480冊という大ベテランのノンフィクション作家、大下英治さん（77）＝写真＝に政局の行方を占ってもらいました。



## 東京。パラリンピック選手名鑑

20日(金)＝特集面

東京パラリンピックは8月24日に開幕予定です。9月5日までの13日間、新競技のバドミントンとテコンドーを含める22競技539種目で熱戦が繰り広げられます。前回オリンピック大会で金メダルゼロに終わった日本選手団は、

【写真説明】リオデジャネイロ大会の車いすテニス男子ダブルスで銅メダルを獲得し、喜ぶ国枝慎吾選手（右）と齋田悟司選手（左）。2016年9月15日、徳野仁子撮影

超えています。200人を表の顔ぶれを紹介し、

## 論点 「リモート化」1年を振り返る

18日(水)＝オピニオン面

新型コロナウイルスの感染拡大で、人同士が接触を避けてオンライン上でつながる「リモート化」が1年以上続いています。仕事や授業、飲み会など、あらゆる場面でリモートが浸透して、私たちの日々の生活や社会

が大きく変わろうとしています。作業の効率化が進んだという声がある一方、ひきこもりが増えるという指摘もあります。この1年を振り返るとともにコロナ後はどうなるのか、識者に話を聞きました。



新毎日

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年

（石原聖）

と共催したオンラインと、11日に「戦時、戦後」をテーマにした対談。竹橋の「窓のかい」編集後記

